

第2回本庁舎等の在り方に関する有識者会議資料〔資料1〕

第1回有識者会議の振り返りと 今後の議論の進め方について

第1回本庁舎等整備の在り方に関する有識者会議

日 時 : 令和3年6月2日(水) 10:00から

形 式 : リモート形式

出席委員 : 平田 会長、岸井 副会長、加藤 委員、山田 委員、根本 委員、小西 委員、出口 委員

諮問事項 : ・防災の観点からの在り方(耐震性能調査に係る検証を含む。)

・財政への影響

・資産マネジメントの観点からの在り方

・まちづくりの観点からの在り方

・その他必要な事項

議 事 : (1) 有識者会議の運営について

(2) これまでの経緯について

(3) 今後の審議に向けての意見交換について

【確認決定いただいた事項】

- ・ 本庁舎の耐震性能について、これまでの経緯や市議会からのご指摘等を踏まえ、専門的・集中的な議論を行うための分科会を設置。(分科会長:山田委員)
- ・ 本庁舎の耐震安全性について、建築基準法の水準に止まらず、防災拠点施設としての機能維持を目指す施設であるということを確認。

第1回本庁舎等整備の在り方に関する有識者会議での主なご意見

【防災の観点からの在り方】について

想定すべき主な災害について

- ◆ 国の調査結果に基づく現在の地震学の知見によると、熊本市において、今後、2016年の熊本地震よりも大きな地震が発生する可能性があることが分かっている。
- ◆ 昨今の気候変動を考えると、今後30年間で浸水する可能性は高いと考えられ、ハザードマップでは中心市街地が全域浸水する想定となっているので、浸水しても大丈夫な都市をつくっていく一環の中で本庁舎等の在り方を考えることが重要。

求められる機能について

- ◆ 被災直後の応急対応での様々な意思決定や、その後の長く続く被災者支援、復旧支援のための意思決定、様々な支援活動の拠点としての機能等、災害を乗り越えるために本庁舎等に求められている機能を、熊本地震の経験も踏まえつつ、丁寧に見ていく必要がある。
- ◆ 身体の安全の確保に加え、市民の復旧復興を支えるという観点から、本庁舎等が機能維持に必要な性能を有していることは重要。機能維持については、現在研究が進められている新しい分野ではあるが、可能な範囲で新しい知見を取り入れながら進めたい。

第1回本庁舎等整備の在り方に関する有識者会議での主なご意見

【防災の観点からの在り方】について

適正な立地・配置の要素について

- ◆ 浸水するところに庁舎を立地すべきではないという議論もあるが、仮に立地場所が浸水する場合でも機能が維持できるように対策を行うべき。

本庁舎の耐震性能について

- ◆ 地震防災の観点からいうと、市役所は地震の際、復旧・復興するためのヘッドクォーターになるところなので、耐震性については万全を期して、確保する必要がある。
- ◆ これまでの経緯を踏まえると、本庁舎等の耐震性能については、専門的、集中的な議論が必要であると考えます。専門的に議論を行うため、耐震性能分科会を設置する。

第1回本庁舎等整備の在り方に関する有識者会議での主なご意見

【財政への影響】 について

本市の財政状況について

- ◆ 今の熊本市の状況は、借金返済額はそれほど大きくないが、借金残高は政令市の中では大きい方である。
- ◆ 熊本市は数年前の大きな災害に対する復旧復興の事業を大きく展開しているため、3年間の据置期間後の元本償還が本格化した時に財政への影響が出てくる。

財政影響を軽減するための方策について

- ◆ 災害復旧の事業の借金返済額が増えていく中で、数年後、本庁舎等整備の借金返済も本格化したときに、それ以外の歳出歳入が数年後どうなっているかをある程度予想して、本庁舎等の整備費を計上したときに耐えられるかについて、多方面から検討してみなければならない。
- ◆ 事業費を抑制した期間というのを何年間か持てば、財政的なフィージビリティが高まるということはある。

第1回本庁舎等整備の在り方に関する有識者会議での主なご意見

【資産マネジメントの観点からの在り方】について

コスト縮減について

- ◆ 従来の発想で、今あるものと同じ規模あるいはそれ以上の規模のものを立派につくるという考え方ではなく、防災性も含めた公共サービスとしての質は維持しつつ、最大限コストを下げるということが重要。また、コストは初期工事費だけでなく、改修費、維持管理費、将来更新費など長期的に必要な総コスト（ライフサイクルコスト）で比較すべき。
- ◆ P F I 等の手法により民間の知恵を導入することで、コストダウンと質の向上を両立させることもできるのではないか。公共施設として必要な条件は要求水準で設定し、公共性を満たした上で最も効率的な提案を採用することによって、市が自らやるよりも、はるかに安いコストで実現できるのではないか。
- ◆ 現庁舎敷地は立地が非常に良いので、この空間を市が全て利用するのではなく、民間にも利用してもらい収入を得る方法を考えるべき。

行政機能の維持・向上について

- ◆ これからの時代にふさわしいオフィスとは一体何かという視点で、フリーアドレスや共用会議室等のスペース削減方法を考えていくべき。
- ◆ 市民が来庁しなくても用が足りるようにするという発想も必要。

第1回本庁舎等整備の在り方に関する有識者会議での主なご意見

【まちづくりの観点からの在り方】について

求められる機能について

- ◆ シティホールという概念を、本庁舎等に当てはめてはどうか。改修・建替えに関わらず、かなりの投資をすることになるので、改めてこれからの社会に向けてのシティホールの概念を再構築について考え、どのような機能や性能を兼ね備えるべきか考えるべき。

適正な立地・配置の要素について

- ◆ 現庁舎の敷地は、桜町の再開発と相まって、街と城をつなぐ大変重要なポイントとなっているので、本庁舎等がそこに残るにしても残らないにしても、どのようなことをこの場所で展開すべきかを真剣に考えていく必要がある。
- ◆ 移転の有無に関わらず、現庁舎に対して手を入れることとなるので、新しい機能をどのように導入し、どのように周辺へ効果を波及させていくのかという観点も必要。
- ◆ 本庁舎等には約2,700人の職員が勤務していることから、かなりの経済波及効果をもたらしていると考えられる。

第1回本庁舎等整備の在り方に関する有識者会議での主なご意見から整理した 審議内容（案）

諮問事項	審議内容（案）
防災の観点からの在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 想定すべき主な災害 ○ 求められる機能 ○ 適正な立地・配置の要素 ○ 本庁舎の耐震性能
財政への影響	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本市の財政状況 ○ 財政影響を軽減するための方策
資産マネジメントの観点からの在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ コスト縮減 ○ 行政機能の維持・向上
まちづくりの観点からの在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 求められる機能 ○ 適正な立地・配置の要素

「防災の観点からの在り方」について

○ 想定すべき主な災害

- 想定すべき地震・津波災害の規模・特徴（発生源となる断層、震度 等）
- 想定すべき風水害の規模・特徴（想定浸水深、浸水時間 等）

○ 求められる機能

- 災害時における対応（緊急対応及び復旧・復興）を行うために本庁舎等に求められる業務（災害対策本部での指揮・命令、支援物資の調達や支給、家屋の被災度調査 等）
- 災害時における対応（緊急対応及び復旧・復興）を行うために求められる本庁舎等の性能（耐震性能、浸水対策、非常用設備の性能・規模 等）

○ 適正な立地・配置の要素

- 災害リスクを踏まえた適正な立地
- 災害時における対応を踏まえた適正な機能配置（指揮・命令部門と被災者支援部門の配置関係 等）

○ 本庁舎の耐震性能

- 2度の耐震性能調査の検証
- 疑問を呈した専門家からのご意見及びこれに対する熊本市等の考え方の検証
- 防災拠点施設として求められる耐震性能の目標

「財政への影響」について

○ 本市の財政状況

- 熊本市財政の中期見通しの前提条件
- 本庁舎等整備を踏まえた財政の健全性

○ 財政影響を軽減するための方策

- 本庁舎等整備による将来的な本市の財政への影響を軽減するための方策
- 民間活力活用等によるコスト縮減を踏まえた財政影響の検証

「資産マネジメントの観点からの在り方」について

○ コスト縮減

- 公民連携も含めた民間活力活用によるコスト縮減手法とその効果
- 行政手続きのオンライン化、テレワーク等の新しい働き方等、社会や行政の在り方の変化を踏まえた庁舎規模の適正化

○ 行政機能の維持・向上

- 市民サービスを向上させるための行政手続きの仕組みや窓口の配置等
- 業務効率性を維持・向上させるための組織構成やオフィスレイアウト等

「まちづくりの観点からの在り方」について

○ 求められる機能

- 市民協働・交流の観点からの機能の在り方（ワークショップやイベントのためのスペース等）
- 情報発信機能の在り方（市政情報（観光、文化含む）を発信するスペース等）

○ 適正な立地・配置の要素

- 区役所等の本市行政施設全体の立地状況を踏まえた本庁舎等の適正な立地・配置
- 市民の利便性や都市機能（公共交通機関、周辺商業施設等）への影響を踏まえた適正な立地・配置
- まちづくりの観点からみた現庁舎敷地（花畑町別館跡地等含む）のポテンシャル